

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2024年度 助成者)

作成日 2024年 8月 14日

氏名 (フリガナ)	咲本 瑞来 (サキモト ミズキ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2024年8月5日 (月) ~ 8月10日 (土)
大学名	順天堂大学
学年	5年

私が今回このプログラムに応募した理由は、来年度アメリカでの見学実習を行うことを考えているからです。それに向けて、自分の医学英語を磨く機会になればと思い参加しました。

今回の留学では、大きく三つのことを得ることができました。

まず、英語で問診、症例報告を行う機会を多く頂けたことです。大学の授業でも英語で問診をすることはありましたが、相手は普段日本語でコミュニケーションを取っている同級生であることもあり、うまくできているか自信が持てなかった部分もありました。今回、患者役は、ハワイ大学医学部の学生さんたちに行なって頂き、挨拶から全て英語で行うことはとても新鮮で、かけがえのない経験となりました。

また、症例報告については、普段日本語で臨床実習中に行うことはあるものの、多くは上級の先生に手直しして頂いてからカンファレンスで報告するので、自分が聞き取った情報を1から組み立てて発表することは初めてで、とても大変でした。ですが、その分学びも多く、症例ごとに先生にフィードバックをしていただけるので、普段の臨床実習にも活かせる助言を多くいただくこともできました。

二つ目に、他大からの参加者の皆さんから多くの刺激を頂きました。様々な地域から志の高い医学生が集まってきており、海外実習の予定があったり、将来海外勤務を視野に入れていたりする方がほとんどでした。その中で、USMLEに興味を持っている人たちからもお話を聞くことができ、いろんな人の今後の展望を聞くことができとても有意義な時間となりました。私自身も海外実習を考えていますが、他の大学での海外留学制度の違いも学ぶことができました。

最後に、ハワイ大の医学部生の皆さんとの交流からも多くのことを学ぶことが出来ました。日本と違い医系大学院を卒業することで医師免許を取ること、大学院への出願に向けて数年の準備を行うことのほか、その過程で地域のクリニックへのボランティア活動を行ったりするなど、日本と全く違う受験事情を知ることができました。今後海外実習などで応募する際に参考になる価値観を学ぶことができたと感じています。

こうした実りの多い医学研修を行うことができたのは、参加者の皆さんだけでなく、関わって頂いた先生方、Hawaii Tokai International Collegeの皆さん、ハワイ大学医学部の皆さん、そしてこのたび参加のハードルを下げてくださいいただいた日米医学交流財団の担当の方々のおかげです。

皆様本当にありがとうございました。

五日間ハワイで学んだことを、今後の礎として勉学に励んでまいります。